

各位

会社名 株式会社エッチ・ケー・エス
代表者名 代表取締役社長 水口 大輔
(JASDAQ・コード 7219)
問合せ先 常務取締役財務部長 赤池 龍記
電話 0544-29-1111

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月4日に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場基準への適合状況は、株主数、流通株式時価総額については基準を充たしておりませんでした。その後、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する二次判定にて、流通株式時価総額の上場維持基準への適合が確認されましたので、株主数が上場維持基準を充たしておりません。今後、当社は2022年8月までに上場維持基準を充たすため、取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (二次判定時点)	310人	5,305単位	10億円	33.1%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	○	—	—	—

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題および取組内容

① 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すために、必要な資本政策を適時実施していく方針です。また、スタンダード市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しており、スタンダード市場の上場維持基準を充たさない株主数につきましては、速やかに改善できるよう取り組んでまいります。

② 課題および取組内容

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行および資本効率の向上のため、一時的に自己株式の取得による市場の需給バランスを図る施策を取っていましたが、反面、流通株式数が減少したことにより、株主数の減少につながる面がありました。その結果、当社はスタンダード市場の上場維持基準のうち、株式数が基準を充たしておりませんので、個人株主の増加を課題として取り組んでまいります。

当社の株主数増加に向けた取り組みといたしましては、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、投資単位の引き下げで株式を買いやすくする対策により、移行基準日時点では256人であった株主数が、二次判定時点では310人まで増加いたしました。また、2021年8月末時点では382人と、基準値の400人に対して18人足りない状況となりました。

今後は更に、市場での流動性を高める対策といたしまして、金融機関との間で政策保有株式の全部または一部の持ち合いを解消し、流通株式数を二次判定時点から6%程度増加させることを目指します。また、情報開示の拡充の取り組みとして、当社ホームページにて、決算概況書や、過年度分も含めた有価証券報告書が閲覧できるよう検討・計画をしております。上記の取り組みにより株主数の増加を目指し、2022年8月末までには株主数が上場維持基準(400人以上)に適合するよう実行してまいります。

以 上